

基本方針 1－1 理解と共感を広げる情報発信と場の創出

分野	事業 番号	取組・事業名	具体的内容	所管	令和 6 年度の取組状況	令和 6 年度の取組状況に対する 区役所の評価	令和 6 年度の取組状況に対する 連携した団体・区民等の評価や意見	事業の 達成度
子ども・子育て	1	子ども・子育てに関する情報提供	区内で安心して子育てができるよう、地域の子ども・子育てに関する情報を提供し、育児等の不安軽減ができるよう支援していきます。また、こども相談窓口の情報を区内の子育て支援者や関連機関・団体にも周知します。母子健康手帳交付時や転入の際に情報冊子を配布し、ホームページ（多摩区こそだてweb）や、かわさき子育てアプリに最新の情報を掲載します。	地域ケア推進課	◆「多摩区地域子育て情報BOOK」を5,000部作成しました。 ◆多摩区内の子ども・子育てで支援における様々な情報を「多摩区こそだてweb」等へ掲載しました。	◆収集した地域の子育て情報や利用者へのアンケートの意見を基に更新し、母子健康手帳交付時や乳幼児家庭の区内転入者、希望者及び区内の子育て支援者、関係機関に配布しました。子ども・子育て世帯にとって必要な支援も複雑化し、情報の収集・発信媒体も多様化しているため、区ホームページへの掲載など、必要な方に広く情報を提供できるように工夫しました。	◆地域子育て支援センターの利用者にアンケートを実施したところ、「一冊にまとまっていて分かりやすい」「写真やイラストが多く、カラーで読みやすい」「子どもの遊び場（室内含む）情報が載っていて助かる」等の意見をいただきました。	3 目標を ほぼ達成
子ども・子育て	1	子ども・子育てに関する情報提供	区内で安心して子育てができるよう、地域の子ども・子育てに関する情報を提供し、育児等の不安軽減ができるよう支援していきます。また、こども相談窓口の情報を区内の子育て支援者や関連機関・団体にも周知します。母子健康手帳交付時や転入の際に情報冊子を配布し、ホームページ（多摩区こそだてweb）や、かわさき子育てアプリに最新の情報を掲載します。	地域支援課	◆母子健康手帳交付時や転入手続き来所時等に多摩区地域子育て情報BOOKを配布しました。また、家庭訪問、面接、電話相談、母子保健事業等において保健師等がチラシや多摩区地域子育て情報BOOKを使用して情報を提供しています。	◆多摩区地域子育て情報BOOKの掲載記事については、保健師、助産師、栄養士等によって内容を確認し、現状に即した情報提供を行い、地域における育児をサポートしています。日頃の支援場面等で保護者が多摩区地域子育て情報BOOKの掲載記事を見て、相談機関に繋がるケースが多くあります。	◆多摩区地域子育て情報BOOKや各事業のチラシを見て事業に参加したという声を聞いています。	3 目標を ほぼ達成
子ども・子育て	1	子ども・子育てに関する情報提供	認可保育所、認定こども園の地域子育て支援事業が一目で分かる冊子を作成、配布します。また、子育てのヒントになる内容を掲載し、子育ての悩みや困ったときの参考にしていただき、育児不安の解消を図ります。	保育所等・地域連携 担当	◆保育所等で実施している地域支援情報を掲載した「たまっ子ノート」を3,500部作成し、子育て中の親子に配布するとともに毎月の情報を「たまっ子カレンダー」に掲載し、最新の情報を届けるようにしました。カレンダーへの記載内容の増加に伴い、3地区（稲田・登戸地区、中野島・菅地区、生田地区）に分けて作成し、より詳細な内容をお伝えできるようにしました。 ◆子育て情報として年4回「子育てのワンポイント」を発行しました。また、子育てに有益な情報を提供するためHPで年4回更新、紙媒体は区役所・子育て支援事業・子育てサロン等で配布しました。	◆区内保育所等施設の情報がまとまっている情報誌は、区民はもとより支援者からも情報提供がしやすいと好評です。遊びに行く場所として、子育ての相談をする場所として、区民に保育所等を紹介するツールにもなっています。子育てのワンポイントは、季節に応じた生活や遊びについて掲載されており、日常における子育てに役立てていただいています。	◆子育て中の親子からは、「たまっ子カレンダー」で情報を得ている、という声が多数上がり発行を心待ちにしているという声もあります。また、子育て支援者から、「子育てのワンポイント」の定期的な発行を楽しみにしているという声もあります。	3 目標を ほぼ達成
子ども・子育て	1	子ども・子育てに関する情報提供	保育所等の入所希望者に向けた説明動画の区ホームページ上での公開や、区内全保育施設の情報提供シートの配布など、多様な情報をアクセスしやすく、かつ分かりやすく提供して、子どもの預け先を探す市民に対し、きめ細やかな支援を行います。	児童家庭課	◆保育所等の入所希望者向け説明動画を区ホームページ上に公開しました。区内91箇所の保育所等や認可外保育施設の情報提供シートを作成し、窓口での配布や区ホームページへの掲載を行いました。	◆説明動画では申請スケジュールや申請書類の具体的な記載方法、よくある質問への説明等を行っており、視聴することで窓口相談にお越しいただかなくても、申請書類を準備していただける内容となっています。情報提供シートには定員数等の基本事項の他、施設の構造や職員数、保育料以外の費用等、保育所選びの参考となるより詳しい情報が掲載されています。	－	3 目標を ほぼ達成
子ども・子育て	2	子ども・子育てに関する講座の開催	子育ての孤立化防止や子育ての悩み解消等を目的に、専門職による子どもの成長・食事や栄養等子育てに関する講演会等を開催し、子育て支援を推進します。	保育所等・地域連携 担当	◆公立保育所3園で実施した保育士・栄養士・看護師の専門職講座には計456人が参加しました。11月に開設した公営の地域子育て支援センターでも食育講座を実施し、30人の地域の方の参加がありました。	◆専門職から日常的な子育てに関する情報を得たり、悩みを相談出来る機会は、子育て中の家庭での育児に活かすヒントを提供する場となりました。	◆体験型講座では、家庭ではできない経験ができることが好評評価でした。	3 目標を ほぼ達成
子ども・子育て	2	子ども・子育てに関する講座の開催	子育ての孤立化防止や子育ての悩み解消等を目的に、専門職による子どもの成長・食事や栄養等子育てに関する講演会等を開催し、子育て支援を推進します。	地域支援課	◆子どもとの関わり方に悩む3～4か月児の親子を対象に「ちゅーりっぷセミナー」を奇数月に開催しました。子どもへの語りかけやスキンシップ等、親子遊びをとおした関わりを親自身も楽しむことの大切さを心理士等の講義や実践、参加者同士の交流を交えたプログラムで行いました。年間6回実施し参加組数91組。参加者には、必要に応じて、地区担当保健師や他の相談先等を紹介しました。	◆子どもとの関わり方が分からない親はどのように触れ合ったらよいのか分からず育児を楽しめず、親としての自信も失くしてしまします。子どもとの具体的な関わり方の方法を伝えることで、親自身が触れ合うことを意識し子どもとの絆が深まり、育児を楽しむことや児の発達を促すことにつながっています。	◆事業実施後のアンケートにてセミナーの内容に対して参加者の満足度は高く、講義内容を実践してみようと思った参加者が多くいました。また、困ったときには誰かに相談しようと思ったとの声も聞いています。	3 目標を ほぼ達成
子ども・子育て	2	子ども・子育てに関する講座の開催	子育ての孤立化防止や子育ての悩み解消等を目的に、専門職による子どもの成長・食事や栄養等子育てに関する講演会等を開催し、子育て支援を推進します。	生涯学習支援課	◆身近な災害リスクに目を向け、赤ちゃんと自分を守るための防災情報を学ぶ講座「赤ちゃんを守るための防災講座」を、消防士などを講師に10～11月全5回の連続講座として開催し、延べ56人参加しました。 ◆「小1の壁」に悩む親世代に向けて、放課後の子育て支援の選択肢を情報提供する講座「小1の壁・放課後どうする？」を、小学校教諭などを講師に11～12月全5回の連続講座として開催し、延べ56人参加しました。	◆子どもを豊かに育む地域社会の創造を目指し、親として市民としての学びを支援することができました。	－	3 目標を ほぼ達成

第7期多摩区地域福祉計画 令和6年度事業評価シート

分野	事業 番号	取組・事業名	具体的内容	所管	令和6年度の取組状況	令和6年度の取組状況に対する 区役所の評価	令和6年度の取組状況に対する 連携した団体・区民等の評価や意見	事業の 達成度
高齢者・ 障がい者	3	バサージュ・たま	区民に障がい福祉への理解と関心を深めてもらうとともに、障がい者と地域社会のつながりづくりを目的として、区内の障がい者団体等による普及啓発活動（活動紹介、作品の展示販売等）「バサージュ・たま」を開催します。	地域ケア推進課	◆「バサージュ・たま」を多摩区役所1階アトリウムと登戸南北自由通路で開催しました（年22回開催）。 ◆「バサージュ・たま」をたまたま子育てまつりと同日開催しました（年1回開催）。 ◆多摩区ソーシャルデザインセンターで、「バサージュ・たま」参加団体の作品の常設展示・販売を引き続き実施しました。 ◆障害への理解や関心を深めるため、「バサージュ・たま」参加団体の日頃の様子をまとめた映像を、追加で1団体とオープニング映像を新たに作成し、「バサージュ・たま」開催時や多摩区YouTubeで放映を行いました。 ◆「バサージュ・たま」運営委員会を年3回開催しました。 ◆新たに広報誌を作成し、多摩区内各所で配布しました。 ◆「バサージュ・たま実施要綱」等を改正しました。	◆原則月2回（8月を除く）開催しました。障害をお持ちの方も意欲と活力をもって参加しており、来庁者からも好評を得ています。 また、登戸駅での開催により障害に関する普及啓発を効果的に実施することができました。 ◆多摩区ソーシャルデザインセンターでの常設展示・販売を引き続き実施し、参加団体の展示・販売機会を確保し、さらなる障害への理解と関心を深めることができました。 ◆制作した映像について、多摩区YouTubeチャンネルや「バサージュ・たま」開催日にアトリウムにて放映して活動の周知を進めることで目的の達成に大きく近づいたと考えます。	◆参加団体から、「多くの方々に製品に限らず、施設や地域のことに興味を持っていただき、お話をさせていただいて楽しく販売できました」との意見をいただきました。 ◆区民の方から登戸駅南北自由通路での開催について、「普段区役所に行く機会がないため、登戸駅で開催してくれると立ち寄ることができるので、今後も開催してほしい」との意見をいただきました。	3 目標を ほぼ達成
高齢者・ 障がい者	4	地域における精神保健福祉の普及啓発	区内の精神保健福祉活動に関わる様々な機関が集まり、地域における精神保健福祉分野の課題を共有するとともに、こころの健康に関する課題解決に向けて、講演会の開催等、普及啓発を中心とした取組を行います。	高齢・障害課	◆「これって依存」をテーマに講演会を実施しました。また、健康福祉局の職員から依存に関する相談窓口の紹介も実施しました。当日は、会場・オンラインを併用して開催し、計65人（会場33人、オンライン32人）の方の参加がありました。	◆会場・オンラインを併用して開催したことで、会場での参加が難しい方でメンタルヘルスに関して興味関心のある方にも参加していただくことができ、普及啓発を図ることができました。	◆「依存は誰もが陥る問題であることを認識できた」「身近なものの依存を取り上げてくださったことで参考になった」「今回のようなオンラインでの開催で感謝している」「新たな知識をつけることができた」との意見をいただきました。	3 目標を ほぼ達成
高齢者・ 障がい者	5	多摩ふれあいまつり	障がいのある当事者、団体、市民が参加し、出会い、ふれ合い、学び合いながら、障がい者や福祉活動に対する理解を深め、共に生きる地域社会の実現をめざします。	生涯学習支援課	◆「多摩ふれあいまつり」を多摩区総合庁舎で開催しました（年1回、6月第3日曜日開催）。 ◆「多摩ふれあいまつり」の開催にあたり、第23回多摩ふれあいまつりの実行委員会を10回、参加団体担当会議を5回開催しました。 ◆来場者約4,000人	◆区社会福祉協議会、区内障害者施設、ボランティア団体、障がい者本人・家族等が協力して、障がいのある人への理解を深めるために開催しました。当事者、ボランティア、実行委員等が協力して取り組み、多くの来場者があり、地域のネットワークづくりを促進するイベントになりました。	－	3 目標を ほぼ達成
地域・防 災・暮らし	6	多摩区地域包括ケアシステムの普及啓発・地域情報の発信	自助・互助の意識醸成のため、区ホームページや広報誌等を活用し、広く住民に向けて地域福祉に関する普及啓発をしていきます。また、地域情報や地域における支え合い活動の広報を通じて、地域活動への関心を深め、参加促進を図ります。	地域ケア推進課	◆地域包括ケアシステムの認知度が特に低い30歳～49歳の子育て世代の認知度向上を狙って、こどもタウンニュースたま区版 2024年特別号を発行しました。 ・発行日：9月24日 ・部数：約10,000部 ・配布先：区内公立小学校及び私立小学校 ◆区役所1階アトリウム等で地域包括ケアシステムに関するパネル展示を実施しました（9月30日～10月4日、1月25日）。	◆身近にある地域包括ケアシステムの取組を小学生にも分かりやすいよう平易な表現で紹介したことで小学生への普及啓発を強化できました。 ◆読者プレゼントの応募にあたり記事を読んで回答するクイズや保護者向けアンケートを盛り込んだことで、保護者が記事を読むプロセスが生じるよう工夫しました。	◆読者アンケートの「この記事を読んで地域包括ケアシステムについての理解が深まりましたか」という設問に対し、回答した保護者77人のうち26人が『とても深まった』、47人が『深まった』と回答しました。	2 目標を上回って 達成
地域・防 災・暮らし	7	健康づくりのための情報発信、講座	健康づくり・介護予防等健康に関する情報発信を行います。また、生活習慣病予防、フレイル予防等健康づくり・介護予防等に関連した講座を開催し、普及啓発を行います。	地域支援課	◆禁煙や肝臓、乳がん等の健康週間や健康月間に合わせて、それぞれのテーマに関する正しい知識や行動変容につながる媒体を作成し、庁舎アトリウムでのパネル展示やデジタルサイネージでの表示、図書館と連携した情報発信ブースの設置等を行い普及啓発を行いました。 ◆多摩区が重点的に取り組んでいる高血圧予防をテーマに、5地区ごとに高血圧に関連する生活習慣の課題に応じた健康づくり・介護予防の講座をそれぞれの地区の会場で開催しました。また、公園体操や地域活動等に出向いて出前講座も実施しました。さらに、血圧手帳や高血圧ニュースの配布、区のホームページへの掲載等を行うなど普及啓発を積極的に行いました。	◆アトリウム展示やデジタルサイネージでの表示、チラシの作成と配布等により、様々な媒体を使い情報発信したことで、多くの方の目に触れる機会が増え、効果的・効率的に普及啓発を行うことができました。 ◆地区ごとの健康課題に応じた講座をそれぞれの地区に出向き実施することで、効果的に普及啓発を行うことができました。	◆9月の健康増進月間に合わせて図書館での情報発信ブースを設置し、それぞれの強みを生かした情報発信が行えたことと好評でした。	3 目標を ほぼ達成

第7期多摩区地域福祉計画 令和6年度事業評価シート

分野	事業 番号	取組・事業名	具体的内容	所管	令和6年度の取組状況	令和6年度の取組状況に対する 区役所の評価	令和6年度の取組状況に対する 連携した団体・区民等の評価や意見	事業の 達成度
地域・防災・暮らし	8	認知症についての正しい理解の普及啓発	認知症の人やその家族が安心して暮らせる地域づくりに向けて、様々な世代に対して認知症についての正しい理解、予防につながる生活習慣などの普及啓発を地域の関係機関とも連携して行います。	地域支援課	◆9月のアルツハイマー月間にあわせて、庁舎1階のアトリウムにて、新しい認知症親や小中学校で実施した認知症サポーター養成講座の感想などを掲載したチラシ、パンフレットを配架展示しました（9月2日～7日）。 ◆認知症サポーター養成講座を受講した子どもたちを含め、さらなる理解を深めるために小学校2校で展示を行いました（11月29日～12月24日、2月14日～3月7日）。内容としては、認知症関連の絵本の紹介、小中学校の認知症サポーター養成講座感想の掲示、認知症サポーターのキャラクター「ロバ隊長」の展示を行いました。 ◆多摩スポーツセンターにて「みんなで楽しく認知症予防エクササイズ」と題して、イベントを実施しました。講師を招いて、認知症の講話とエクササイズを行い、18人の参加がありました（11月7日）。 ◆タブレットを利用した認知機能の測定と地域活動への参加・勧奨を行う「アタマの健康チャレンジ!」を実施しました（11月5日 参加者：4人、1月25日 参加者：13人）。	◆小学校での展示は、講座終了後に認知症普及啓発活動の一環として、対象学年だけでなく、全児童に「認知症」に触れてもらう機会となり、学校全体の普及啓発につながりました。 ◆多摩スポーツセンターでのイベント実施は地域住民がコグニサイズの魅力を知ることができました。	◆小学校での展示では、講座を実施した学年以外の児童も展示を見たり、認知症サポーターのキャラクター「ロバ隊長」の人形や絵本に触れたりする場面が見られたとの話がありました。	3 目標を ほぼ達成
地域・防災・暮らし	9	快適で暮らしやすい生活環境づくりのための情報発信	食品衛生、感染症対策や居住環境の整備、ペットの適正飼養等住み慣れた地域で快適に暮らし続けるための支援体制づくりをめざします。	衛生課	◆市政だより多摩区版、区役所内のデジタルサイネージ等を活用して、区民や来庁者向けに、食品衛生、感染症対策、ペットの適正飼養等について啓発しました。 ◆区役所アトリウムで多摩区版動物愛護フェアを実施しました。 ◆外部講師（整理収納アドバイザー）を招き、高齢者向けの片付け講習会を3回実施しました。 ◆区民からの依頼により、講習会を実施しました。	◆市政だより多摩区版、区役所内のデジタルサイネージ等を活用して、区民や来庁者向けに、食品衛生、感染症対策、ペットの適正飼養等について啓発しました。 ◆多摩区版動物愛護フェアで適正飼養について資料を配布する等啓発活動を行いました。 ◆高齢者向けの片付け講習会を実施し、居住環境の整備の支援を行いました。 ◆講習会の依頼を受けて、食中毒予防、結核予防等について講話しました。	－	3 目標を ほぼ達成
地域・防災・暮らし	10	防災対策啓発事業	防災に対する理解と関心を深め、防災意識の高揚と地域の防災力向上を図ることを目的に「ぼうさい出前講座」を実施し、市が行う防災対策や家庭でできる防災対策の解説等を行います。また、多くの区民が、災害時の備えや防災知識を習得するために、親子で楽しく災害時の行動や日頃の備えを学ぶ「防災フェア」等を開催し、区民の自助・共助を促します。	危機管理担当	◆多くの区民が災害時の備えや防災知識を習得することを目的に、楽しく災害時の行動や日頃の備えを学ぶ「防災フェア」を、令和7年2月2日、多摩区役所で開催し、来場者向けに防災体験ブースや展示ブースを複数設け、防災についての啓発を実施しました。 参加者270人	◆「防災フェア」は、多摩区自主防災組織連絡協議会の啓発ブースを設けており、パネル展示の来場者向け案内、備蓄物資等の配布を行いました。	◆防災に関する啓発ブースでの説明や体験により、来場者から、「防災に関する知識を深めることができた」などの声をいただきました。	3 目標を ほぼ達成
地域・防災・暮らし	11	町内会・自治会加入促進への取組	転入者や未加入者へ、地域の町内会・自治会活動を紹介する「町内会・自治会加入促進リーフレット」を転入窓口等にて配布します。また、転入者の多い春の時期に、区役所ロビーにて啓発コーナーを設け、町内会・自治会活動を広く周知します。	地域振興課	◆町内会・自治会加入促進リーフレットを転入窓口等にて配布しました。 リーフレットについては、各町内会・自治会での加入促進活動にも活用いただいています。また、3月21日～3月28日の期間、区役所ロビーにて町内会自治会活動啓発キャンペーンを実施し、町内会・自治会活動を広く紹介しました。	◆毎年、区役所ロビーにて実施している町内会・自治会加入促進啓発キャンペーンは、転入者も興味を持って足を止めています。配布リーフレットにより、加入案内に繋がるケースも多く見受けられます。	◆リーフレットを使用して、各町内会・自治会でも加入促進活動を行っています。未加入世帯が集まる盆踊り等のイベントでも配布し、一部の町内会自治会長からは、活動に興味を持ってもらうことに繋がっているとの声をいただいています。	3 目標を ほぼ達成
地域・防災・暮らし	12	多摩区タウンプロモーション推進事業	区の魅力を発信し、誘客を促進する取組及び「ピクニックタウン多摩区」をキーワードにまちの賑わいとタウンイメージの向上を図ります。	地域振興課	◆公式SNSとして週1回以上発信をし、特にInstagramのフォロワー数を1年間で約400人以上増やすことができました。また、PRアンバサダーとして、9組10名を任命し、公式noteを発信するなど、市民目線の多摩区の魅力発信を行いました。	◆PRアンバサダーによる発信などによって、区役所による発信だけでは届かない層にも多摩区の魅力を発信することができました。	◆PRアンバサダーになることによって、改めて多摩区の魅力に気づくことができたとの意見がありました。区民からの意見としてより幅広い層に向けて発信してほしいとの意見もあります。	3 目標を ほぼ達成

基本方針 1－2 地域活動の担い手育成

分野	事業 番号	取組・事業名	具体的内容	所管	令和 6 年度の取組状況	令和 6 年度への取組状況に対する 区役所の評価	令和 6 年度への取組状況に対する 連携した団体・区民等の評価や意見	事業の 達成度
子ども・ 子育て	13	多摩区子育て支援者養成講座	子どもの成長や子育てについての基礎知識や地域の子育て支援活動の情報提供、実習等を通して、子育て支援を担う人材の育成を図ります。	地域ケア推進課	◆全 3 回にわたる子育て支援者養成講座を会場受講（11月29日～12月13日）で実施し、延べ22人が受講しました。 ◆地域活動団体での実習として、寺小屋のぼりと・ひがしすげ、なかのしま子ども応援ネットワーク、あゆみYELL、子育て支援センターますがたに延べ4人が参加しました。	◆講座内容や回数の見直しを行い、申込しやすい講座内容にしました。また、地域の子育て支援団体を含めてのワークショップを開催することによって、受講者の子育て支援に対する目標や理解を深めることができました。	◆受講生から、「地域に活動している方がたくさんいると知れて、皆さんの熱い思いも聞くことができて良かった」「子どもの年齢や子育て支援経歴の異なる方々との交流がなかなかできないので刺激的だった」といった意見をいただきました。	3 目標を ほぼ達成
子ども・ 子育て	14	スキルアップ講座	子育て支援者を対象とした講演会等を実施し、子育て支援を担う人材の育成を図ります。	保育所等・地域連携 担当	◆「絵本からまなぶ子育て支援」をテーマに、地域の子育て支援にかかわる支援者同士の連携を図るとともに、技術の修得や向上をめざし、支援の場に活かすことを目的に、講師を依頼し講演会を実施しました。対面方式で23人が参加しました。	◆テーマについては、子育て支援者へのアンケートで興味関心のある内容を選定しました。絵本を選択する際の判断基準を学んでいたくとともに、実際に読み聞かせをするにあたってのスキルアップに繋がりました。	◆絵本そのものに対する見聞が深まった、という声や、実際に読み聞かせをしてもらう経験を通じて得る体験を支援の中で活かしていきたい、という声がありました。	3 目標を ほぼ達成
子ども・ 子育て	15	中高生職場体験	公立保育所が近隣の学校と連携し、中高生が1日保育士として乳幼児と触れ合い、子育ての楽しさ等を体験することで、地域で子育てを行う意識の醸成を図ります。	保育所等・地域連携 担当	◆近隣の学生153人が保育園での職場体験を行い、多世代交流の機会を持つことができました。	◆一人っ子世帯も多くなり、乳幼児を知らないまま大人になり、子どもを持つ人も少なくない中、若い世代がこのような機会を持つことは、少子化の問題にも少なからず必要な体験だと考えます。	◆実際に就学前の子どもたちと触れ合う経験は、学生にとって貴重な機会だという声がありました。	3 目標を ほぼ達成
子ども・ 子育て	16	P T A 活動研修	子どもの健やかな成長を支えるPTA活動のあり方等についての学習機会を提供することにより、各学区や行政区の特色を生かしたPTA活動の活性化を図ります。	生涯学習支援課	◆多摩区市立小・中学校PTA委員になられた方々を対象に、多摩区PTA活動研修を年4回（5月16日、30日、6月6日、18日）開催しました。	◆PTA活動の役割、活動内容、運営方法などについて学ぶとともに、学校間の情報交換や交流を図るための研修を実施し、子どもたちの健やかな成長を支えるPTA活動を支援することができました。	◆PTA活動を支える参加者が活動の意義を見つけ、自身の役割に自信を持ち、地域や学校全体のための協力を促進できるヒントにつながったという声を聞くことができました。	3 目標を ほぼ達成
地域・防 災・暮らし	17	健康づくりを担う人材の育成	食生活・健康づくり等のボランティア養成講座を開催し、活動を担うボランティア学習会の機会を通じて、運動の効果や基本的な知識を学べるよう進めています。	地域支援課	◆健康づくり・介護予防を担う地域の人材育成のために、健康づくりや食育に係るボランティアの養成教室を4日間1コースで開催しました。1日目は9名、2～4日目は各7名の参加がありました。講座の期間中に実際にボランティアの活動見学や体験ができる日を設定するなど工夫を行いました。また、1日目と4日目にグループワークの時間を設定することで地域の仲間づくりに寄りました。 ◆地域で活動しているボランティア同士の交流と情報交換を目的に「グループ活動の継続・活性化のヒント」をテーマにボランティア学習会を年1回開催しました。講義の中でコグニサイズを取り入れ、実際の活動の中で活かせるよう内容を工夫し、当日16人の参加がありました。	◆参加者からの講座への評価は高いが、募集や広報に苦勞を要しました。ボランティア養成に係る関係部署や関係機関との連携をより検討していく必要があると考えます。 ◆実際に話が盛り上がる様子も見られ、ボランティア同士の交流ニーズは高いと考えられます。 ◆講座の内容を工夫したことで、ボランティア活動につながる橋渡しができました。	◆実施後のアンケートでは、講座への満足度も高く、また、「講座内でのグループワークで他の参加者と意見交換できたことが良かった」との意見をいただきました。	3 目標を ほぼ達成
地域・防 災・暮らし	18	認知症サポーター養成講座	認知症に対する正しい知識と理解を持ち、地域で暮らす認知症の方やその家族を応援・手助けする「認知症サポーター」を養成し、また、その後の活動を支援するフォローアップ等を開催して、認知症高齢者等にやさしい地域づくりに取り組みます。	地域支援課	◆区役所にて認知症サポーター養成講座（住民/職員向け）を実施しました（7月25日）。参加者19人（住民13人、区職員6人）。 ◆いこいの家（中野島、長尾、錦が丘、南菅、登戸、菅）にて認知症サポーター養成講座を実施しました。計11回、参加者は122人。 ◆一般向けの講座を計15ヶ所で開催し、参加者は213人。 ◆小学校向けの講座は計13校（区内14校中）で実施し、参加者は1,300人。中学校向けは計6校（区内7校中）実施し、参加者は1,080人。 ◆「笑顔を繋ぐコミュニケーションスキルとは」をテーマに認知症サポーターフォローアップ（9月6日）を実施し、参加者は30人。 ◆サポーターフォローアップ受講者で希望する方にボランティア体験（10月24日、28日、29日）をグループホーム等の施設で実施しました。参加者は、認知症当事者と一緒に日中活動に参加し、実践的な接し方などを学びました。参加者は7人希望されましたが、結果的に4人参加となりました（体調不良や日程あわずのため）。	◆認知症サポーター養成講座については、学校や社会福祉協議会との連携で実施したものでなく、民生委員・児童委員協議会や病院、訪問介護事業所など多種の団体で実施することができ、サポーターを増やすことにつながりました。 ◆認知症サポーター養成講座の対象者によって内容を変え、新テキストに準じて認知症と認知症の人の理解が進むように認知症キャラバン・メイトの方とも意見交換を重ね、工夫しました。 ◆中学校向け講座では、認知症施策推進計画に書かれている①新しい認知症観に立つ②自分事として考えるということを、講座を通して伝えることができました。 ◆サポーターフォローアップでは、当事者の目線、支援者の目線には大きな隔たりがあり、講師の方の「その人自身に想いを馳せて内面の世界に目を向ける」という言葉が参加者の心に響いていました。 ◆前年度からの課題であった、講座後にボランティア等何か活動に参加したい方や認知症をお持ちの方と実際に接してみたいという方々の繋ぎ先がないという点については、体験講座を設けることで希望する方に参加していただくことができました。	◆区役所やいこいの家で実施した際のアンケートでは、「偏見を自覚できた」「まだまだできると本人も家族も思うこと」「認知症になってもやりたいことを続けられることを知った」など、認知症に対して前向きな言葉が多く見受けられました。また、「参考になった」と回答した人がほとんどであり、大変好評でした。 ◆小学校で実施した際のアンケートでは、今後おじいちゃんやおばあちゃんに優しい心で接したいという感想が多く、それぞれの立場で具体的な対応や接し方について考えることができていました。 ◆中学校では、アンケートの結果から、多くの生徒が認知症の症状や認知症の人への接し方の理解が深まったことや、認知症への関心を持つことにつながったことが分かりました。 ◆一般向け講座においては、受講者のほとんどが、講座の内容は「参考になった」とアンケートにて回答しました。 ◆認知症サポーターフォローアップでは、講座の中で用いた事例の内容が好評でした。 ◆ボランティア体験参加者を受け入れていただいた全施設からも好評でした。	2 目標を 上回って 達成

分野	事業 番号	取組・事業名	具体的内容	所管	令和6年度の実施状況	令和6年度の実施状況に対する 区役所の評価	令和6年度の実施状況に対する 連携した団体・区民等の評価や意見	事業の 達成度
地域・防 災・暮ら し	19	地域防災力強化に向けた取組	避難所運営会議への出席や防災出前講座などを通じて、地域の方が防災に関心を持ち、災害時に対応できるよう取組を進めています。	危機管理担当	◆「災害に強いまち」の実現のために、次世代の防災リーダーとして活躍が期待される子育て世代への取組が必要であることから、子どもとその保護者が興味を持って気軽に参加しやすいプログラムを取り入れた「防災キャンプinせせらぎ館」を3月8日に実施しました（参加者51人）。	◆若い世代の地域防災力の向上が図られました。	◆参加した方のアンケート結果から、実施したプログラムについて、「実際にできそうな防災の方法を教えてください」などの評価がありました。	3 目標を ほぼ達成
地域・防 災・暮ら し	20	多摩区観光ボランティアガイドの養成	豊富な自然や文化施設、観光資源といった多摩区の魅力を紹介する観光ボランティアガイドの養成を行います。	地域振興課	◆観光ボランティアガイドの主催するガイドツアーを雨天中止を除いた9回実施したほか、個別に依頼のあったガイドツアーや地域イベントでの観光案内を実施しました。また、新規ガイドを募集し、説明会及び研修を行い、5人の方が新たに観光ボランティアガイドとして登録されました。	◆観光ボランティアガイドツアーは満員となる回も多く、人気の企画となっています。新規ガイドも積極的に活動していますが、一方で活動を辞めるガイドもあり、継続的な人材育成が必要であると考えます。	◆多摩区観光協会の中でも、観光ボランティアガイドの活動は非常に活発に行われており、人気のツアーも多いです。リーダーを務められるガイドが限られており、その育成も必要であるとの意見もあります。	3 目標を ほぼ達成
地域・防 災・暮ら し	21	市民エンパワーメント研修	市民活動・ボランティア活動に関する学習機会を提供することにより、市民自らが考えながら生活・地域課題等に取り組むことができるように支援します。	生涯学習支援課	◆外国にルーツを持つ方々に向けた、にほんごボランティアの活動について学習する講座を5回開催しました。（2月20日、27日、3月4日、14日、20日）累計で46人の方が参加しました。	◆講座の内容として、講義だけではなく、実際の活動を見学する回を設けることで、にほんごボランティアの活動への理解が深まるように工夫しました。	◆講座の参加者へのアンケートでは、複数の方から、「今後活動に参加したい」との感想をいただきました。	3 目標を ほぼ達成

基本方針 1－3 地域活動への支援

分野	事業 番号	取組・事業名	具体的内容	所管	令和 6 年度の取組状況	令和 6 年度の取組状況に対する 区役所の評価	令和 6 年度の取組状況に対する 連携した団体・区民等の評価や意見	事業の 達成度
子ども・ 子育て	22	多摩区こどもの外遊び交流 事業	「外遊び」を通じて子どもの生きる力を育み、創造 力を培うとともに、地域での人のつながりづくりを促 す「こどもの外遊び交流」を推進します。外遊びの催 しや外遊び活動の担い手となる人材の育成、外遊び活 動の支援等を行います。	地域ケア推進課	《主催イベント》 ◆生田出張所新広場「思いつき外遊び」（12月14日開催 177人参加） ◆ニヶ領せせらぎ館「大人の風揚げ交流会」（2月16日開催 運営及び参 加:18人程度） 《共催イベント》 ◆「ニヶ領用水のガサガサ体験」（9月14日開催 55人参加） ◆「たこつくり、たこあげ」（1月13日開催 202人参加） 《広報業務》 ◆「生田出張所新広場オープニングイベント」出展（6月16日開催） ◆「たまたま子育てまつり」出展（9月15日開催） ◆その他啓発事業、活動支援事業などを実施しました。	◆多摩区こどもの外遊び交流委員会の事務局として、物品貸出等の 外遊び団体の支援を通じ、地域活動を活性化させることができました。 ◆当初予定していた「ニヶ領用水の魚つかみ」が、猛暑の影響で魚 が弱り実施できなかったため、「ニヶ領用水のガサガサ体験」に内 容を変更して実施するなど柔軟に対応できました。	◆多摩区こどもの外遊び交流委員会の委員か ら、「子どもたちが道具を持参して遊び方を見 つけている様子を見て、イベントが定着してい ることが伺えた」、「たこつくりでは様々な模 様のたこが完成していて、子どもたちの多様な 個性を見ることができた」、「外遊びに関心 がある親子が増えてきていると感じた」等の意見 をいただきました。	3 目標を ほぼ達成
子ども・ 子育て	23	P T A 家庭教育学級講師派 遣	子どもの理解や親の役割及び家庭環境、家庭教育に 関する地域における諸課題等について P T A が実施す る家庭教育学級に対し、講師派遣等の支援を行いま す。	生涯学習支援課	◆区市立小・中学校 P T A 向けに「P T A 家庭教育学級説明会」を開催し ました（令和6年4月30日）。 ◆区市立小・中学校 P T A 家庭教育学級の1年間の活動を総括し、情報を 交換する場として、「P T A 家庭教育学級報告会」を開催しました（令和7 年2月22日）。	◆条件により講師派遣等の支援を行うことができます。P T A が安 心して学級を開設・運営できるよう相談、申請手続き等のサポート に取り組むことができました。 ◆P T A 家庭教育学級は12校と区 P T A 協議会で実施され、そのう ち講師派遣を利用したのは6校と多摩区 P T A 協議会でした。各学 級では多様な内容の企画が実施されました。	—	3 目標を ほぼ達成
高齢者・ 障がい者	24	老人クラブ育成事業	地域の高齢者が主体的に集まる仲間づくりの場とし て、教養の向上、健康の増進、レクリエーション、社 会活動等の老人クラブ活動を支援していきます。	高齢・障害課	◆区老人クラブ連合会では、年間行事である演芸大会やスポーツ大会、グ ランドゴルフ大会、ベタंक大会、ゲートボール大会、体力測定、いきい き体操、ダンスまつり等の健康づくりや趣味の作品展、交通安全の折り鶴 作成・配布等のいきがいづくりに取り組みました。 ◆区や各地域包括支援センターでは、各種活動の周知に協力しました。	◆それぞれの活動を通じて高齢者のいきがいと健康づくりが図ら れ、介護予防につなげることができました。 ◆区や各地域包括支援センターでは、地域において重要な役割を 担っている老人クラブが継続的に活動できるよう、いきいき体操へ の参加や行事等の周知協力等を通じて会員増強運動を支援しまし た。	◆老人クラブ加入者からは、活動が身体の健康 面はもちろん、精神的な部分も健康につなが っており、今後も様々な活動を通じていきがいづ くりに取り組んでいきたいとの声をいただきま した。	3 目標を ほぼ達成
高齢者・ 障がい者	25	当事者・家族会等のグルー プ支援	統合失調症や発達障がい等、様々な精神疾患を抱え る当事者の家族を対象に、家族会の協力を得て「家族 教室」を実施します。病気や障がいに関する情報等の 提供や家族としての経験を分かち合うための座談会、 及び社会資源の見学等を通じて、精神医療や福祉制度 の理解を深め、孤立の防止や家族の対応能力の向上を 図るとともに、こころの病について考える機会としま す。	高齢・障害課	◆毎月1回年12回実施で計画し、予定通り実施することができました。 ◆家族を対象とした家族教室は、精神障害当事者・精神障害者を抱える家 族・地域の支援者をお呼びし、障害者のグループホームをテーマに12月に 実施しました。また、家族会は年2回（うち1回は、家族会主催の「家族の つどい」として実施）実施しました。	◆精神疾患を持つ患者を対象としたデイケアでは、患者のリハビリ テーションとなるような様々なプログラムを実施しました。 ◆家族教室は、精神障害当事者、精神障害者を抱える家族、地域の 支援者及び参加者で意見交換も行ったことで、それぞれの立場での 理解につながり、有意義なものとなりました。また、家族会は、意 見・情報交換を参加者間で行ったことで家族同士の交流と支えの場 となりました。	◆精神疾患を持つ患者を対象としたデイケアで は、有意義な時間を過ごすことができたなどの 感想をいただきました。 家族教室では、当事者・家族・支援者それぞ れの立場から講演、質問に答えていただいたこと で病気のことを理解し、受け止めることができ た、参考になったなどとの意見をいただきました。	3 目標を ほぼ達成
地域・防 災・暮ら し	26	民生委員児童委員の活動支 援	民生委員児童委員と区役所の情報の共有や、市民に 向けた活動の広報、活動に関連した研修会の実施等、 民生委員児童委員活動の支援を行います。	地域ケア推進課	◆令和 6 年度は推薦区会を 2 回開催し、新規に 2 人を委嘱し、新任民生委 員児童委員研修会を 2 回開催しました(3 月末時点で欠員26人/定員242 人)。 ◆欠員地区解消のため、町会連合会での説明、依頼文の送付に加え、候補 者募集ポスターを町内掲示用に配布しました。 ◆活動支援の一環として、地ケアパネル展示に民生委員紹介パネル・パン フレットの設置（9月30日～10月4日）、こどもタウンニュースたま区版 （地ケア特別号）に登下校の見守りパトロール活動の記事掲載を行いま した。 ◆市民からの相談や依頼があった際には、内容に応じて民生委員児童委員 と情報を共有しました。	◆欠員区域のある町内会・自治会等に継続的に候補者の推薦依頼を 行ったことで、新規に 2 人を委嘱し、欠員を補充することができま した。 ◆新任民生委員児童委員研修会の開催や、市民からの相談・依頼に 適切に対応することで、民生委員児童委員の活動が円滑に行えるよ うに支援することができました。	◆広報パンフレットを見た方から、民生委員児 童委員の活動内容に興味を持っていると問い合 わせいただきました。	3 目標を ほぼ達成
地域・防 災・暮ら し	27	地域のサロン等への支援	身近な地域の中での居場所や人と人がつながり交流 できる場における仲間づくり、情報交換、学び等の取 組を支援し、地域での見守りを地域住民、関係機関と 連携して推進していきます。	地域支援課	◆地域で開催されているサロンや会食会等に保健師、栄養士、歯科栄養 士、認知症地域連携推進員等が出向き、健康や栄養、口腔、認知症予防等 の健康講話の実施や参加者の見守り、運営の支援等を行いました。 ◆多摩区の認知症カフェや地域カフェの情報が掲載されている「多摩区カ フェまつり」を作成し、誰もが身近な地域で気軽に参加できるよう活動の 周知のための広報を行っています。	◆身近な地域で様々な活動に参加し居場所や仲間づくりができるよ う、各関係機関と連携し、チラシを活用した広報の工夫や活動支援 を行いました。また、必要な方には活動の紹介を行い、円滑に参加 につながるよう、橋渡しを行いました。	◆それぞれの団体からは、ボランティアの高齢 化や運営の苦労など大変な面もあるが、ボラン ティア自身や参加者の生きがいづくりや見守り の場になっているとの声がありました。	3 目標を ほぼ達成

分野	事業 番号	取組・事業名	具体的内容	所管	令和6年度の取組状況	令和6年度の取組状況に対する 区役所の評価	令和6年度の取組状況に対する 連携した団体・区民等の評価や意見	事業の 達成度
地域・防 災・暮ら し	28	多摩区食生活改善推進員連 絡協議会の支援	地域で食を通したボランティア活動を行う食生活改 善推進員の活動について、活動に必要な知識の伝達及 び地域活動の活性化を図るための支援を行い、食を通 した地域づくりを推進します。	地域支援課	◆地区定例会に年30回、運営委員会に年12回出席し、講話や情報提供のほ か、会員とともに活動内容の検討を行いました。養成教室未受講者にも定 例会等に出席してもらい、活動体験を通して当協議会への興味を持ってい ただくことができました。 ◆地域防災訓練や、たまたま子育てまつり、大学学園祭へ参加しました。 日本食生活協会からの委託事業については、調理実習や試食を伴う方法で 実施しました。SDCや若者世代の居場所とつながりをもち、区役所として も課題である若者世代に対してアプローチができました。小学校とのイベ ント実施、男性料理教室、地域カフェでの啓発も実施しました。新たに障 害者事業所と一緒に調理実習も行いました。マタニティ食育体験にも毎月 参加し、野菜摂取、薄味の啓発をしました。食生活改善推進員が行った普 及啓発活動は42回1,097人です。	◆コロナ禍を経たこと、会員の高齢化により地域活動への意識の低 下がみられます。役員との打合せの時間を多く設けましたが、今後 も定例会で意識の醸成を図るような支援をしていきます。 ◆若者世代向け調理実習では対象者への広報強化、利便性を考え、 オンラインフォームでの予約とし、フォーム作成支援を行いました。 ◆初めての試みとして、障害者事業所と一緒に調理実習を行いまし た。これまで接することが少なかった知的障害の方々にバランスの 良い食事、野菜摂取の啓発ができました。 ◆定例会などを実施し、定期的に集まることや、行政から情報提供 を行うことにより、自助・互助の意識を高めることができました。	◆多摩区食生活改善推進員連絡協議会から、た またま子育てまつり、大学学園祭に参加したこ とにより、働き世代や若い方々に対しての啓発 を効果的に行うことができたとの意見をいただき ました。 ◆障害者事業所からは「地域の方と接すること ができ、バランスのよい食事について調理実習 を通して教えてもらうことができ、実践的で有意 義でした。次年度もお願いしたい」と意見を いただきました。	2 目標を 上回って 達成
地域・防 災・暮ら し	29	健康づくりと地域参加	「多摩区みんなの公園体操」「多摩区いきいき体 操」「多摩区健康ウォーク」等、地域での閉じこもり 予防を行い、身近な地域で気軽に参加できる活動を周 知していきます。	地域支援課	◆地域のボランティアの方を中心に「多摩区みんなの公園体操」は31か 所、「多摩区いきいき体操」は18か所で開催しています。また、「多摩区 健康ウォーク」も月1回程度実施しています。それらの活動やその他の地 域活動に向向き、健康講話や参加者への見守り、運営支援等を行っていま す。また、案内チラシを作成し、区民への周知を行っています。	◆それぞれの活動に年に数回ずつ出向き、健康についての講話やよ り安全に安心して活動が継続できるよう参加者への見守りや運営へ の助言等後方的な支援を行いました。 ◆チラシ等を活用して広報を行いました。	◆それぞれの団体からは、ボランティアの高齢 化や運営の苦労など大変な面もあるが、ボラン ティア自身や参加者の生きがいづくりや見守り の場になっているとの声がありました。	3 目標を ほぼ達成
地域・防 災・暮ら し	30	自主防災組織への運営支援	町内会・自治会やマンション管理組合等で構成する 自主防災組織に対し、防災用資器材購入費用の一部を 助成する等、自主防災組織の活動を支援するととも に、地域の自主防災組織の結成・加入等を促進してい きます。	危機管理担当	◆各自主防災組織連絡協議会の訓練等の活動に対して、「川崎市地域防災 活動促進助成金」を支給しており、66件の申請がありました。 ◆各自主防災組織が、地域での自主防災活動を目的とした防災資器材を購 入する場合に、「川崎市自主防災組織防災資器材購入補助金」を支給して おり、27団体へ支援しました。	◆会議等において、「令和6年度活動支援ガイド」を配布し、左記 2つの制度のほか、ぼうさい出前講座等、自主防災組織が防災活動 等に関する説明を行い、補助金の交付等の支援を行いました。	—	3 目標を ほぼ達成
地域・防 災・暮ら し	31	多摩区コミュニティ施策区 域レベル取組推進事業	地域で活動する団体等からの相談受付や活動支援に 向けたコーディネート等を行うソーシャルデザインセ ンターについて、区民主体で効果的に運営するための 支援を行い、市民創発による地域課題の解決に向けた 取組を進めます。	企画課	◆「これからのコミュニティ施策の基本的考え方」における区域レベルの取組を効 率的に推進するため、多摩区ソーシャルデザインセンターの運営組織と締結した協 定に基づいた運営支援（行政情報の提供、広報支援、組織体制の強化に係る支援 等）を実施しました。《運営組織による主な取組は以下のとおり》 ◆多摩区ソーシャルデザインセンター事務所にスタッフを配置し、相談受付を実 施しました。 ◆地域活動を行っている団体に対する補助事業である多摩区地域コミュニティ活動 支援事業（多摩区まちのひろば活動支援資金）を実施しました。1件10万円を上限 として募集を行い、令和6年度は10事業を選定しました。 ◆事務所でのイベントを通じた人材発掘や地域人材の情報登録受付による人材バン クの構築に向けた取組を行いました。 ◆地域との一層の関係構築や団体・地域の課題把握を図り、活動が及んでいなか った地域への支援等を推進するなど、地域情報の収集・発信を実施しました。 ◆地域人材の育成を目的に、中高生を対象にイベント等の地域活動を体験できるブ ログラムや、高校生のインターンシップ受入れを実施しました。 ◆地域の交流促進に向けたイベントを開催しました（「登戸・たまがわマル シェ」、「フロントウン冬まつり」、「登戸・たまがわ運動会」等）。 ◆地域イベントへの参加・協力を行いました（「登戸まちなか遊緑地」等）。 ◆まちのひろば創出や交流促進に向けて、事務所交流スペースの利活用を促進し、 地域応援・活性化プログラム、交流イベント開催をしました（「こども食堂」、「 カラフルカフェ」等）。 ◆全国都市緑化かわさきフェア生田緑地会場への来場者向けにおもてなしブースを 設置し、市・区が実施する事業への協力・連携を実施しました。	◆「多摩区におけるソーシャルデザインセンター開設案」に掲げら れた基本的機能に沿って、多様な主体の連携により、交流促進や地 域活性化をはじめ、区民中心の運営組織主体の様々な取組が実施さ れました。	—	3 目標を ほぼ達成

分野	事業 番号	取組・事業名	具体的内容	所管	令和6年度の取組状況	令和6年度の取組状況に対する 区役所の評価	令和6年度の取組状況に対する 連携した団体・区民等の評価や意見	事業の 達成度
地域・防 災・暮ら し	32	市民活動支援事業	市民活動のための打ち合わせ等を行うための会議室、資料作成を行うための印刷・作業スペース等の機能を備えた「多摩区民活動・交流センター」を区民との協働により運営し、市民活動団体等の活動の発展、交流、相互支援を促進します。	地域振興課	◆多摩区内の市民活動団体等が自主的・自立的に発展していくための支援を行う拠点として、多摩区役所及び生田出張所内に「多摩区民活動・交流センター」を設置し、年間を通じて、会議室や印刷・作業スペースを提供するとともに、登録団体から構成する運営委員会を年8回行い、同センターの運営の検討を行ったほか、全体会及び交流会を年1回開催し、団体会の交流・相互支援を促進しました。	◆多摩区役所・生田出張所共に、使用状況は増加傾向にあり、また、令和6年度には団体から要望のあったロッカーの増設について、多摩区役所打合せスペースに1台増設し、より多くの団体が利用できるようにしました。以上のことから本事業が市民活動の支援につながっているものと考えられます。	◆運営委員からは、コロナ禍の利用減から回復し、多くの団体が通常通りの活動ができるようになったことを歓迎する一方、登録団体数が多いことから、引き続き使用ルールについての周知徹底が必要であるとの意見もあります。	3 目標を ほぼ達成
地域・防 災・暮ら し	33	町内会・自治会活動の支援	地域住民が主体となった地域課題の解決等への取り組みや、多くの住民の参加とつながりを促進するにあたり、要する費用の一部について補助金を交付するなど、地域社会において重要な役割を担う町内会・自治会活動の活性化を支援します。	地域振興課	◆地域住民の参加とつながりを促進するため、各町内会自治会活動を行うにあたり、「町内会自治会活動応援補助金」を63の町内会自治会に交付し、支援を行いました。	◆町内会自治会への補助金交付を通じて、各町内会自治会活動に関する地域住民の理解と関心を促し、様々な住民の参加とつながりを推進するよう取り組みました。	—	3 目標を ほぼ達成
地域・防 災・暮ら し	34	市民自主学級・市民自主企画事業	地域や社会の課題解決に向けて、市民が企画提案し、市民館と協働で市民に身近な学習の場を創り、市民の主体的な学習活動や市民活動を活性化します。	生涯学習支援課	◆市民団体が提案した学級（福祉関係以外：1事業）を行政と協働で実施しました。	◆企画運営する側の市民団体と受講者が同じ目線で課題を共有し、問題解決に向けて話し合うことができました。行政としては、資金を委託料として提供したり、効果的な広報方法や会計処理など講座がスムーズに運営できるように支援しました。 ◆今後も市民力の向上と地域のコミュニティ形成の活性化に努めていきます。	—	3 目標を ほぼ達成
地域・防 災・暮ら し	35	公園・街路樹等の愛護活動支援	公園緑地愛護会等への支援を実施し、公園緑地等における市民協働の取組を推進します。	道路公園センター	◆管理運営協議会・公園緑地愛護会を対象に剪定講習会を2回実施、合同連絡会を1回開催することで愛護活動に必要な情報を提供し、活動の活性化や維持管理技術の向上等を行いました。	◆剪定講習会により樹木等の維持管理技術が向上し、合同連絡会では行政からの連絡事項について情報共有が図られ、愛護活動の活性化に繋がりました。	—	3 目標を ほぼ達成

基本方針 2－1 誰もが気軽に参加できる活動・交流の機会づくり

分野	事業 番号	取組・事業名	具体的内容	所管	令和 6 年度の取組状況	令和 6 年度の取組状況に対する 区役所の評価	令和 6 年度の取組状況に対する 連携した団体・区民等の評価や意見	事業の 達成度
子ども・ 子育て	36	多摩区子育て支援パスポート事業	区商店街連合会との協働により、区内の妊婦及び18歳未満の子どもがいる家庭へ、子育て応援店によるサービスの提供等の支援を行うことで、商店街を中心に地域のコミュニケーションの機会を増やし、地域社会が一体となって子育てを支援する体制を推進します。	地域ケア推進課	◆「多摩区子育て支援パスポート」を2,261枚発行しました。 協賛登録数（11商店会、71協力店、3公共施設） ◆協賛店の確認、協賛店ガイドの更新を行いました（3月 1,000部）。 ◆協賛店ステッカーの作成を行いました。（3月 500部）。 ◆事業の普及啓発として、「たまたま子育てまつり」などに参加し、パスポートカードを「たまたま子育てまつり」で215枚発行しました。 ◆子育て世帯を対象としたアンケートを実施し、パスポートの認知度や利用頻度、どうすれば利用しやすくなるかといった項目について調査を行いました。	◆アンケートの調査結果に基づき、多摩区商店街連合会と当事業の普及啓発および改善に向けた意見交換を行いました。利用者の利便性向上のため、パスポートの電子化に向けて検討を行いました。	◆協賛店からは、「この制度がきっかけで店同士の繋がりを深めることができた」「店舗間でもコミュニケーションが生まれて良い」との意見をいただきました。	3 目標を ほぼ達成
子ども・ 子育て	37	子育てサロン・子育てひろば	乳幼児期から親同士の交流を図り、孤立化を防止します。また、育児不安や育児ストレスの軽減ができるよう、親同士による情報交換や専門職による育児相談を実施していきます。	地域支援課	◆多胎児を持つ保護者の支え合いを目的とした、子育てサロン「ぶぶよザウルス」を年10回（8月台風の接近のため開催せず。12月は休会）開催しました。年間延組数39組が参加し、うち2組が多胎児を妊娠中の妊婦が参加しています。 35歳以上の初産婦を対象に子育てサロン「こうのとりの」を年10回（8月台風の接近のため開催せず。12月は休会）開催しました。年間延参加組数は、118組、うち初回参加の合計は44組。 近隣に住む親子の情報共有や交流を目的として、子育てサロン「長沢ママ's サロン」を年6回、「長尾親と子の広場」を年10回開催しました。	◆「ぶぶよザウルス」「こうのとりの」「長沢ママ's サロン」「長尾親と子の広場」を開催し、区内で子育てをしている親同士で支え合いながら、安心した育児ができるように支援しました。また、「ぶぶよザウルス」においては、妊婦の参加により出産後の多胎児育児のイメージ作りに役立っています。	◆サロンに参加することで友人ができた、情報交換ができ参加してよかったという声をいただきました。	3 目標を ほぼ達成
子ども・ 子育て	37	子育てサロン・子育てひろば	多摩区へ引っ越してきたばかりの親子等に集いの場を提供します。仲間づくりや地域の子育て資源の情報提供を行いながら地域へつなげていきます。	保育所等・地域連携 担当	◆緑化センターを会場に、8月を除き毎月、転居して地域のことをあまり知らない方や、子育てについて不安のある方を対象とした「だんだんの会」を開催しました。転居して地域のことをあまり知らない方や、子育てについて不安のある方を対象とし、毎回10組程度の少人数制で開催し、36人の親子が参加しました。	◆全5回の終了後も子育て中の親子が孤立しないように参加者が地域の場所や人とながらることを支援することができ、保護者だけでなく子どもにとっても、家庭以外の場でさまざまな人と関われる経験が、より良い育ちにつながっています。	◆毎月顔を合わせることで、互いの子どもの成長を喜び合えたこと、保育士に気軽に相談等ができ子育てを支えてもらい地域に出ていくことができたという感想が出ていました。	3 目標を ほぼ達成
子ども・ 子育て	38	子ども子育て推進事業	育児不安やストレスの軽減、親同士の交流及び父親の育児参加を目的に、楽しく集い遊ぶ場と情報の提供や、安全に遊べる環境整備を、地域の子育て支援者等と協働で推進していきます。	保育所等・地域連携 担当	◆「ママとあそぼうパパもね！」事業 主催が多摩区公私立保育所、共催が菅こども文化センターで、民生委員児童委員協議会、KFJ多摩すかいきっず、地域子育て支援センター宙の協力のもと、保育所等・地域連携担当が事務局となり開催しました。 ◆区内3エリアで、4・8・9月を除き毎月1回ずつ実施しました。定員は20組程度とし、登戸地区354人、生田地区328人、菅地区231人、計913人が参加しました。	◆キャンセル待ちの方が出る応募状況の場合、募集人数の調整をして対応し、地域で求められる集いの場を提供することができました。	◆保育士の紹介するあそびが参考になる、子どもに様々な経験をさせられることが嬉しい、という感想の他、親のリフレッシュにもなる、地域に知り合いができ嬉しい、スタッフの声掛けが嬉しいといった声も多くあげられました。子どもの成長発達への喜びを共有してもらえことや、声が掛け合える関係性であることについては、参加者、スタッフ双方から好評な意見が出ていました。	3 目標を ほぼ達成
子ども・ 子育て	39	身体測定・遊びの広場	子育て中の親子を対象に、公立保育所において、子どもの身体測定や家庭でも楽しめる遊びの提供、専門職による子育て講座を行い、子育ての悩みを解決し、近隣の子育て世代の仲間づくりを推進します。	保育所等・地域連携 担当	◆公立保育所で開催のあそびの広場には329人、園庭・室内開放等に2,248人、交流保育に220人の参加等がありました。	◆お子さんが専門職の関わりのもと生活し、年齢に相応した遊びを経験し、仲間と共に過ごす保育園の場を活用して、子育てに悩みを抱える保護者に実際の姿や関わりを見てもらい、育児に関する相談を受けする機会は、子育て中の家庭の育児不安の解消に大きく貢献しています。	◆家庭で子育てをしていると、同年齢のお子さんの様子を知る機会が少ないことなどから、お子さんの姿や保育士の関わりを直接知ることができる体験型の事業は好評を得ています。	3 目標を ほぼ達成
子ども・ 子育て	40	子育てひろば・外国人の子 育てひろば	子育て中の親子を対象に、家庭の教育力を培い仲間づくりを行う機会を提供します。	生涯学習支援課	◆「子育てひろば」 就学前の子どもと保護者が自由に交流するフリースペースを年19回開催しました（8月を除き毎月第2・4火曜）。 年間参加：260組（533人） ◆「外国人の子育てひろば」 外国人の親子が自由に交流するためのフリースペースを年11回開催しました（8月を除き毎月第2金曜）。 年間参加：56組（123人）	◆子育て支援ボランティアグループの協力のもと、通年で開催しており、広く区民に知られる存在となっています。親子が安心して参加できる地域の居場所として、大切な役割を果たしています。今後も人と地域のつながりを大切にする交流の場所の提供に努めます。	◆参加者から、地域の子育て支援関係の情報発信やスタッフ・参加者同士交流できる喜びの声が多くありました。	3 目標を ほぼ達成

分野	事業 番号	取組・事業名	具体的内容	所管	令和 6 年度 の取組状況	令和 6 年度 の取組状況 に対する 区役所の評価	令和 6 年度 の取組状況 に対する 連携した団体・区民等の評価や意見	事業の 達成度
子ども・ 子育て	41	たまたま子育てまつり	子育て中の親子や区民を対象に、子育て力を養い、仲間探しをする場づくりを行います。また、充実した子育て支援を行うため、関係する団体間のネットワークの構築をめざします。	生涯学習支援課	◆「たまたま子育てまつり」を多摩区総合庁舎で開催しました（年1回、9月第3日曜日開催）。 ◆「たまたま子育てまつり」の開催にあたり、市民と行政機関で構成された実行委員会を12回、参加団体説明会を2回開催しました。 ◆子育てリーフレット「多摩区で子育て」3,000部発行しました。 ◆来場者約4,500人	◆昨年よりも多い、約4,500人の来場者があり、参加団体数も増加しました。子育て支援に取り組んでいる参加団体と、子育て世代の来場者等との交流を促進するだけでなく、各団体やボランティアが協力してイベントを運営することで、参加団体同士の情報交換の場にもなりました。 ◆子育て情報リーフレットを印刷し、「たまたま子育てまつり」開催中に、関係者と連携して子育て世帯に配布しました。	◆実行委員会から「参加団体同士のチームワークがよく見られ、お互いの情報交換や交流等が行われて良かった」、参加団体や来場者からも、「全世代の人が協力していて、子どもたちの楽しそうな表情をたくさん見ることができて良かった」という感想をいただきました。	3 目標を ほぼ達成
高齢者・ 障がい者	42		障がい者と地域住民の交流の場「障がい者社会参加学習活動」	生涯学習支援課	◆多摩市民館障害者社会参加学習活動「青年教室」として、全10回の活動を実施しました。	◆地域のボランティアの方々と企画し、青年メンバーの社会参加を支援できました。生きがいづくり、人と人との交流促進と顔の見える活動を通じ学習機会の提供を行いました。	◆バスハイクなど外での活動や料理教室などを実施することができ、参加者やボランティアからは好評でした。	3 目標を ほぼ達成
地域・防 災・暮ら し	43	「Ankerフロンタウン生田」との連携イベント・教室	Anker フロンタウン生田と連携して、誰もが気軽にスポーツを楽しむことができる機会を提供し、地域住民の交流、地域の活性化を推進します。	地域振興課	◆ボールウォーキング教室（全43回開催、延べ1055人参加） ◆NECレッドロケッツ川崎バレーボール体験教室(8月9日開催、56人参加) ◆多摩川ボールウォーキング&川崎フロンターレ観戦ツアー（9月27日開催、14人参加） ◆SPARTANイベント(10月27日開催、245人参加)	◆本事業は、市内で様々な地域づくりに関する活動に取り組んできたクラブのノウハウを活かし、広く区民へスポーツ及び交流の機会を提供し、多摩区における地域スポーツの更なる推進と地域コミュニティに新しい活力を生み出すことを目指し、実施するものです。通年のスポーツ教室や子ども向け体験会などを実施することで、Anker フロンタウン生田を多くの人に体験してもらい、多摩区の新たなスポーツ拠点という位置づけを明確にし、区内におけるスポーツ推進の土台を固めていくことができたと考えます。参加者も1,300人を超え、継続的にスポーツに取り組む機会と新しいスポーツの体験の提供を併せて行うことで事業効果を高めることができました。	◆参加者から「継続的に参加することで、健康的になった」「参加者同士で交流が生まれた」などの意見をいただきました。	3 目標を ほぼ達成
地域・防 災・暮ら し	44	多摩区スポーツフェスタ	地域のスポーツ資源を活用し、地域の特色を生かしたスポーツイベント「多摩区スポーツフェスタ」を実施することにより、区民が身近にスポーツに親しむことができる環境づくりに取り組み、スポーツ活動を通じた地域住民の交流、地域の活性化を図ります。	地域振興課	◆Anker フロンタウン生田と川崎市多摩スポーツセンターを会場とし、10月14日に第12回多摩区スポーツフェスタを開催しました。	◆本イベントは、誰もが参加できるスポーツ体験事業として、地域の団体を構成員とする実行委員会形式で毎年実施しているものです。実行委員会を中心に企画立案を進め、元日本代表の多田修平選手による走り方教室など、30種目52体験教室を行ったほか、KADOKAWA DREAMSのダンスパフォーマンスによるオープニングセレモニーを行いました。スポーツに取組む機会を提供する目的に加え、地域の活動を知ってもらう機会や住民同士の交流を促進する一助となったと考えます。 ◆6年度は、市制100周年記念事業として、Anker フロンタウン生田と川崎市多摩スポーツセンターの2会場で実施し、4,000人を超える方に参加していただきました。それぞれが複数の種目を楽しむなど、事業の目的と安全な開催を両立することができたと考えます。	◆参加者から「みんなと走れてよかった」「トップアスリートのレッスンを体験できて、いつかオリンピックに出られたらいいなと思いました」などの意見をいただきました。	3 目標を ほぼ達成
地域・防 災・暮ら し	45	川崎市多摩スポーツセンターの運営	指定管理者による施設運営を通じ、市民のスポーツの普及及び振興に関する各種事業を行っています。気軽にスポーツに親しめる場を提供することで市民の健康維持・増進を推進します。	地域振興課	◆市民のスポーツの普及及び振興に関する各種事業を行い、477,532人が利用しました。	◆スポーツ教室事業については、幼児から高齢者、障害者などを対象とした幅広い教室（約80種目）を企画運営しており、定番の卓球教室、テニス教室、ブル教室、弓道教室などのほか、共同事業体の知名度を活かしたフットサル、バスケ教室、さらにはヨガやピラティスなどエクササイズ系の教室にも力を入れており好評を博しています。また、フレイル予防の健康体操、シニアスイミングなど高齢者をターゲットにした教室も好評で、研修室の稼働率向上の試みとして始めた健康麻雀はコミュニティづくりの効果も期待でき人気教室になっています。 ◆個人利用事業についても、スポーツデーを実施し、卓球やバドミントンなど、市民が気軽にスポーツに親しむことができる環境を創出したほか、トレーニング室における器具の更新や、環境の改善、ブルにおける回数券の販売など、利用者のニーズにあわせた事業展開ができており、利用者に十分な量および質のサービスを提供したと考えます。	◆利用者アンケートでは、施設利用をすることで「体力がついた」が27.4%、「仲間ができた」が25.0%と、効果を上げる声がありました。	3 目標を ほぼ達成
地域・防 災・暮ら し	46	魅力的な公園整備事業	既設公園の老朽化に伴う施設更新やバリアフリー化等の再整備を行い、多様な公園利用者の利便性を向上させます。また、再整備にあたっては地域と調整し、地域の交流の場としての活用に資する整備を行います。	道路公園センター	◆東名塚第2公園バスケットゴール更新工事を実施しました。老朽化したバスケットゴールを騒音低減効果のあるアルミバンチングボード（ジュニア用1基、一般用1基）に交換しました。	◆バスケットボールを楽しみながら公園利用者同士の交流を促進する一助となったと考えます。	◆公園利用者から「きれいなゴールボードで練習できてうれしいです」などの意見をいただきました。	3 目標を ほぼ達成

基本方針 2－2 身近な地域での支え合い活動の推進

分野	事業 番号	取組・事業名	具体的内容	所管	令和 6 年度の取組状況	令和 6 年度の取組状況に対する 区役所の評価	令和 6 年度の取組状況に対する 連携した団体・区民等の評価や意見	事業の 達成度
地域・防 災・暮ら し	47	地域包括ケアシステムの推 進	自助・互助の意識の醸成や、身近な課題への住民主 体の取組を広めていくため、課題解決のプロセスを住 民と共有し、地域特性に応じた「多世代で支え合う」 地域づくりを進めます。	地域ケア推進課	◆1月25日に「地域活動マッチングイベント 地域のつながり！たまたまみっけ！」 をテーマに、企画課と合同で多摩区地域デザイン会議×地ケアフォーラムを開催し ました。出席団体参加も含め132人が参加しました。 ◆区内を5地区に分けて、各地区の地域特性に応じた取組を実施しました。 ◀登戸地区>・のぼりとミーティング コロナ後の活動状況を踏まえ、活動紹介ハンドブック内容を更新しました。2月25 日にNAGOMI (YUEN HAIR)、3月10日にのぼりと園芸部で参加団体の交流機会の 増加、活動の理解促進を目的に活動見学会を実施しました。 ◀菅地区>・地ケアつながりプロジェクト～TeamSUGE～ 交流会を2回（11月22日、3月21日）開催し、「地ケ算」の中で生まれた困り事を 共有し、解決に向けて取り組みました。より住民主体のプロジェクトにするため、 開催テーマの検討や当日の運営を区役所と一緒に考える企画部会を設立しました。 ◀中野島地区>・中野島多世代つながり愛プロジェクト協議会 6月24日、協議会を開催し、目標達成課題である「防犯への取り組み」と「地域と の交流が少ない」の改善に向け、地ケ算のタネの創出を行いました。2月3日、協議 会を開催し、実際に実施した地ケ算の報告と新たな地ケ算のタネの創出を行いま した。 ◀稲田地区>11月10日、緑化センターまつりに出展し、パネル展示や血圧測定を実 施して普及啓発しました。9月26日、長尾こども文化センターで、子育て世代を対 象に防災講座を実施しました。 ◀生田地区>西三田団地において、エリア内の公園を活用した多世代交流の場の立 ち上げ支援を行いました。南生田2丁目公園体操の立ち上げ支援を行いました。 ◆5月21日、庁内の連携体制推進に向けて、区役所職員を対象に「地ケアって？」 研修会を開催し、18人が参加しました。	◆多摩区地域デザイン会議×地ケアフォーラムの開催により、「地 域で何か始めたいと考えているがまだできていない人」を対象に、 地域での居場所やつながりを見つけるきっかけを提供することがで きました。 ◆多摩区地域デザイン会議×地ケアフォーラムの新たな仕掛けとし て、後日、区職員同行のもと、地域活動団体の活動を見学できる 「ちょこっと活動見学」を設定したことで、参加者がイベント中に 抱いた興味関心を逃すことなく、次の一歩につなげるアフターフォ ローができました。 ◆各地区の特性に応じて、多様な主体による協働・連携に向けた協 議会・交流会を開催してネットワークの維持や目的の明確化に向け た取組を行うことで、地域包括ケアシステム構築のための基盤の安 定を一層図ることができました。 ◆地ケアつながりプロジェクト～TeamSUGE～において、「地ケ 算」の創出の過程で地域住民や団体の自発的な意見交換や助け合い が見られたことから、「地ケ算」は他地区の支え合いの地域づくり を効果的に進めていく上で有用であると考えています。	◆多摩区地域デザイン会議×地ケアフォーラム の参加者からは「地域でつながりをつくること の重要性が分かった」「地域活動に興味を持つ きっかけになった」との意見がありました。ま た、出席団体からは「ちょこっと活動見学は、 見学者が単独で行くよりも、見学者と団体双方 にとって安心感がある良い試みだと思う」との 意見をいただきました。 ◆地ケアつながりプロジェクト～TeamSUGE～ の参加者から、「菅地区内の様々な団体が話し 合いをしている。グループごとの話し合いもあり 、これまで知らなかった団体と意見交換がで きて有意義だと感じている。取組の発表や共有 もあり、和気あいあいとした良い取組である」 との意見をいただきました。	2 目標を 上回って 達成
地域・防 災・暮ら し	48	地区カルテ等を活用した地 域ごとの情報の集約と見え る化	地域づくりに関わる多様な主体と地域の概況や課題 を共有し、課題解決を促進するツールとして、地区カ ルテを効果的に活用していきます。	地域ケア推進課	◆多摩区地区カルテの定期更新を行いました(3月)。 ◆多摩区地区カルテのホームページを更新しました(3月)。	◆各地区の地域づくりワークショップ等において、議論のきっかけ とする材料として、地区カルテ共通フェイスシートを活用しまし た。また、庁内職員を対象とした研修等においても、同資料を活用 して各地区の地域特性などについて、情報共有を行いました。引き 続き、住民と地域の概況や課題を共有するためのツールとして活用 を検討していきます。	—	3 目標を ほぼ達成
地域・防 災・暮ら し	49	多摩区・3大学連携事業	地域資源である区にゆかりのある3大学を活用した 魅力あるまちづくりを推進するため、大学と地域の交 流・連携を図るとともに、地域の様々な課題の解決に 向けて、大学と連携した取組を実施します。	企画課	◆「多摩区・3大学連携協議会」の取組を通して、大学と地域の交流促進を図ると ともに、地域の課題解決に向けた取組を行うため、以下の事業を実施しました。 ・大学・地域連携事業の実施 ・大学生の地域参加促進事業（たまなび）として各種プログラムの実施 ・情報誌たまなびnewsの発行（1回） ・2024多摩区3大学コンサート～水と緑と学びのまち～の実施 ・3大学協議会（3回）、たまなびnews編集会議（1回）の実施 ・協議会設立20周年に向けた記念事業の検討	◆大学生の地域参加事業では、「多摩区の食」をテーマとして、地 域の農家へ訪問、区内の食材を使用したメニューの考案・提供など のフィールドワーク活動における市民との交流を通して、地域課題 解決に向けた実践的な取組を行うことができました。	—	3 目標を ほぼ達成
地域・防 災・暮ら し	50	生田地区コミュニティ推進 事業	生田地区のコミュニティ活動を活性化するために、 生田地区の実情に応じた拠点活用を行います。	生田出張所	◆生田出張所新広場オープニングイベント（6月16日開催：約560人参加） ◆市制100周年記念事業・市民150万本植樹運動「生田出張所新広場植樹祭」（10 月5日開催：約150人参加）	◆イベントに参加した団体の活動を知ってもらう機会や住民同士の 交流を促進する一助となったと考えます。	◆参加団体からは、今後も同様のイベントがあ れば、また参加したいとの意見をいただきまし た。	3 目標を ほぼ達成

基本方針 3－1 支援が必要な人への見守り・支え合いの推進

分野	事業 番号	取組・事業名	具体的内容	所管	令和 6 年度の取組状況	令和 6 年度の取組状況に対する 区役所の評価	令和 6 年度の取組状況に対する 連携した団体・区民等の評価や意見	事業の 達成度
子ども・ 子育て	51	新生児訪問・こにちは赤ちゃん訪問	生後 4 か月までの赤ちゃんのいる家庭に対し、訪問指導員（保健師・助産師・看護師）が伺い、赤ちゃんの体重測定や相談を行います（新生児訪問）。又は、子育て家庭と地域とのつながりをつくるため、研修を受けた地域の方が訪問員として伺い、身近な子育て支援情報等を届けます（こにちは赤ちゃん訪問）。	地域支援課	◆妊娠届出や転入の際に新生児訪問・赤ちゃん訪問の案内を実施しました。出生後 1 か月以上経過しても出生連絡票が提出されていない場合は、勸奨ハガキの送付や地区担当保健師が電話や訪問にて提出を促し訪問に繋げています。看護職による新生児訪問等は、1,577件、民生委員等の地域住民の訪問員によるこにちは赤ちゃん訪問は98件実施しました。	◆乳児期の早い段階で訪問を行うことで、育児負担のある保護者の早期把握と支援を行う事ができ育児負担の軽減につながっています。また、地域の住民と知り合える機会となり孤立育児の防止につながっています。	◆新生児訪問で育児相談ができ良かった、そこで紹介された母子保健事業に参加し友人ができたという声をいただきました。	3 目標を ほぼ達成
子ども・ 子育て	52	産後の健康相談、育児相談	産後の母親の健康や、日常の育児の心配や不安があるとき、子どもの成長や発達を確かめたいときの育児相談を行います。	地域支援課	◆保健師、看護師、助産師、歯科衛生士、栄養士と運動発達の相談のため北部地域支援室に理学療法士の派遣を依頼しており、多くの専門職による専門的な相談を受けています。 ◆来所にて産後の健康相談と育児相談を年間12回開催し、育児相談は延べ166組の参加があり、乳児が112組、幼児が54組。相談内容は、育児の相談が一番多く次に栄養相談、運動相談となっています。産後の健康相談は、延べ40組が参加しました。	◆一度に多くの専門職に育児相談ができるため、様々なちょっとした事も気軽に相談でき育児不安の軽減につながっています。また、産後は母親自身の体調が不安定になる事が多いため、助産師に相談することで産後の健康にも留意してもらえる機会になっています。 ◆一度限りの来所ではなく、何度も産後の相談や育児相談を利用している母子や産婦も多く、産後の体調や育児の相談ができる場として多くの区民が利用しています。	—	3 目標を ほぼ達成
子ども・ 子育て	53	子ども・子育て相談	養護相談（虐待相談含む）、障がい相談等、0歳から18歳の子どもに関する問題について、家庭その他のからの相談に応じ子どもの福祉を図るとともに権利を擁護します。	地域支援課	◆家庭や関係機関からの子どもに関する相談に対して、保健師や社会福祉職、心理職、栄養士、助産師、こども教育相談員等、多職種で相談に応じ、子どもの福祉と権利擁護に重点を置いて相談支援を行いました。	◆母子保健と児童福祉分野の職員が協働して相談に応じていくことで、家庭の課題の早期発見や早期対応につながっています。	—	3 目標を ほぼ達成
子ども・ 子育て	54	学習支援・居場所づくり事業	生活保護受給世帯及びひとり親家庭の小学3～6年生及び中学生を対象に学習支援を行い、生徒の高校進学率向上を図るとともに、子どもの居場所づくりを行い、「貧困の連鎖」の防止に取り組みます。	保護第1課・第2課	◆学習支援事業者との定期的な連絡会を開催して、事業を利用している子どもの利用状況を把握し適時、担当ケースワーカーと情報を共有して必要な支援を実施しました。また、新規事業参加者の獲得を目的として年度末に全事業対象世帯に対して利用意向の調査を実施しました。	◆引き続き学習支援事業者との連携を密にして事業を推進していきます。	◆（学習支援教室実施事業者からの意見として）今後も区役所と情報共有を密に行い、対象世帯への支援を拡充していきます。	3 目標を ほぼ達成
高齢者・ 障がい者	55	ひとり暮らし等高齢者見守り事業	地域の実情に通じている民生委員児童委員の協力のもと、ひとり暮らし高齢者等の世帯状況や身体状況等の実態を把握し、安心して生活を営めるよう、見守りネットワークづくりに活用していきます。	高齢・障害課	◆ひとり暮らし高齢者及び高齢者のみ世帯の高齢者等を対象に、郵送による生活状況調査を行いました。その調査票から見守り対象者を選定しました。また、郵送での調査に回答がなかった方に対して、民生委員に訪問による再調査を依頼しました。 ◆調査後は、個人情報保護に配慮しながら、回答内容を民生委員と共有して日頃の見守り活動に活用するほか、必要に応じて地域包括支援センターと連携し、孤立等のリスクのある高齢者の早期発見・実態把握や支援につなげるなどの活用を図りました。	◆回答いただいた調査票は、個人情報保護に配慮しながら民生委員や地域包括支援センターと連携し、見守りや支援が必要な方への相談につなぎました。また、リスクのある高齢者の早期発見・実態把握に活用しています。	◆民生委員の方に高齢者生活状況調査の結果に応じて見守りを依頼しましたが、その後ひとり暮らし高齢者お一人おひとりの状況に合わせた見守りや支援ができたとの声がありました。	3 目標を ほぼ達成
高齢者・ 障がい者	56	認知症等行方不明SOSネットワーク事業	行方不明になり生命に危険を及ぼす可能性のある認知症等の方の情報を事前に登録することにより、行方不明となった際に速やかに発見するための緊急連絡体制を関係機関と連携して構築します。また、近隣の市区町村と連携を図り、高齢者の安全を確保し家族への支援を行います。	高齢・障害課	◆令和 6 年度は多摩区で38人の申請があり新規事前登録を行いました。高齢者在宅サービス課から月に 1 度神奈川県を経由し、神奈川県警本部に情報共有していますが、所轄警察署には自動的に共有されなかったため令和 6 年度に見直しを行い、要綱に基づき、多摩警察署生活安全課に月に 1 度、事前登録者に関する情報提供を行いました。搜索依頼を受理した場合は、地域包括支援センター等、搜索協力依頼を適切に行いました。	◆年々、登録者数は増加しており、制度の周知はされてきています。今後、早期発見につながるためには事前登録者が付けているネームプリントで身元照会ができるなどの情報を広く一般に周知していく必要があると考えます。	—	3 目標を ほぼ達成
高齢者・ 障がい者	57	高齢者・障がい者相談支援の実施	高齢者や障がい者が安心して暮らし続けることができるよう、高齢者・障がい者に関する様々な相談を受け止め、適切な機関・制度・サービス等につなぎ、継続的なフォローを行います。また、高齢者や障がい者等への虐待に関する相談窓口の普及啓発と、通報に対する迅速かつ適切な対応を関係機関と連携して実施するとともに、虐待の防止にも取り組みます。	高齢・障害課	◆高齢者や障がい者が安心して暮らし続けることができるよう、高齢者・障がい者に関する様々な相談を受け止め、適切な機関・制度・サービス等につなぎ、継続的なフォローを行いました。また、高齢者や障がい者等への虐待に関する相談窓口の普及啓発と、通報に対する迅速かつ適切な対応を関係機関と連携して実施し、虐待の防止にも取り組みました。 高齢者に関する相談件数 （レベル2以上 初回のみ） 2 2 9 件 高齢者虐待対応件数 6 6 件 身体障害者手帳 交付件数 4 9 5 件 療育手帳 交付件数 6 0 件 精神保健に関する相談件数 1 3 5 4 件 障害者虐待対応件数 4 8 件	◆地域包括支援センター、障害者相談支援センターと連携しながら、高齢者や障がい者が安心して暮らし続けることができるよう、相談を受け止め、適切な機関・制度・サービス等につなぎ、継続的なフォローを行いました。高齢者や障がい者等への虐待に関する相談窓口の普及啓発に努め、通報に対して迅速かつ適切な対応を関係機関と連携して実施できました。	◆（関係機関からの意見として）高齢者や障がい者に関する様々な相談を受け止め、適切な機関・制度・サービス等につなげることができました。高齢者や障がい者の虐待に対しては連携を図り、迅速かつ適切な対応を行っていただけ	3 目標を ほぼ達成

分野	事業 番号	取組・事業名	具体的内容	所管	令和6年度の取組状況	令和6年度の取組状況に対する 区役所の評価	令和6年度の取組状況に対する 連携した団体・区民等の評価や意見	事業の 達成度
地域・防 災・暮ら し	58	川崎市地域見守りネット ワーク事業	協力事業者等から連絡のあった、異変のある地域住民の情報を基に関係部署と連携し、訪問等による必要な支援を行います。全市的な協力事業者の拡充等、きめ細やかなネットワーク構築により効果的な事業実施を行います。	地域ケア推進課	◆通報件数11件（内訳：死亡1件 在宅確認2件 入院確認4件 その他4件 ※令和6年1月1日～12月31日）	◆住民の異変に係る事業者からの通報に、迅速に対応するなど、異変が生じた際の早期の状況確認について、事業者及び関係課と連携を図ることができました。	—	3 目標を ほぼ達成
地域・防 災・暮ら し	59	認知症訪問支援事業	認知症になってでもできる限り住み慣れた地域で暮らし続けられるよう、医師、看護師、介護支援専門員、社会福祉士等専門職種の連携により、認知症高齢者とその家族への支援体制の構築を推進します。	高齢・障害課	◆令和6年度の取組としては、1回実施しました。新規相談等はなく、令和5年度の取組状況の結果について報告する会となりました。1年を通して新規相談はなく、チーム員会議自体の実施はありませんでした。	◆認知症の疑いのある世帯との支援においては迅速な対応や支援経過の検討を必要とする中、支援実態に即して会議を開催することができませんでした。	◆（地域包括支援センター各所からの意見として）新規の相談以外、現在介護サービスが入っている世帯でも複雑な課題を抱えている場合は多くあり、そういったケースの事例検討も必要ではないかとの意見がありました。今後は、そういった支援困難になっている世帯に対するアセスメントを含めて会議を開催することを検討しています。	3 目標を ほぼ達成
地域・防 災・暮ら し	60	災害時要援護者避難支援制度	災害時に自力で避難することが困難な高齢者や障がい者に対し登録を促し、希望者からの申し込みを受けて登録を行います。申し込みにより作成した災害時要援護者名簿を支援組織（町内会・自治会、自主防災組織、民生委員児童委員）に提供する等、地域における共助による避難支援体制づくりが円滑に進むよう支援をしていきます。	高齢・障害課	◆災害時に自力で避難することが困難な高齢者や障害者からの申込窓口として、問い合わせに対する案内や申請受付、システムの登録を行いました。その情報を危機管理担当宛て提出しました。	◆申込受付の際は、個人情報の同意について確認をし、調査項目に従い聞き取りを行うことができました。	—	3 目標を ほぼ達成
地域・防 災・暮ら し	60	災害時要援護者避難支援制度	災害時に自力で避難することが困難な高齢者や障がい者に対し登録を促し、希望者からの申し込みを受けて登録を行います。申し込みにより作成した災害時要援護者名簿を支援組織（町内会・自治会、自主防災組織、民生委員児童委員）に提供する等、地域における共助による避難支援体制づくりが円滑に進むよう支援をしていきます。	危機管理担当	◆川崎市災害時要援護者避難支援制度に登録した方、登録抹消した方の情報を、該当する自主防災組織に送付しました。	◆個人情報に配慮し、適切に送付しました。	—	3 目標を ほぼ達成

基本方針 3－2 区民・団体・民間・行政の連携

分野	事業番号	取組・事業名	具体的内容	所管	令和6年度の取組状況	令和6年度の取組状況に対する 区役所の評価	令和6年度の取組状況に対する 連携した団体・区民等の評価や意見	事業の 達成度
子ども・子育て	61	多摩区子ども総合支援連携会議	子どもに関わる市民活動団体・機関・関係部署のネットワークを活かし、地域全体で子育て支援を推進します。	地域ケア推進課	◆子ども総合支援連携会議を6月4日に開催しました。 各団体から取組状況の報告、多摩区地域みまもり支援センター保育所等・地域連携担当から「多摩区保育・子育て総合支援センターの開設」、子ども未来局保育・子育て推進部から「ジモイク川崎の取組」について、それぞれ説明しました。 ◆子ども子育て支援講演会を3月10日に開催しました。 子ども・子育て支援地域連携事業と合同で開催し、「子どものウェルビーイングを考える～そのために私ができること～」をテーマに開催しました。民間子ども支援団体、区内保育園、子育て支援センター、地区民生委員児童委員など16人が参加しました。	◆子ども総合支援連携会議を通じて、今後の取組やアイデア等の情報収集、行政から調査結果や計画の説明をし、子育てに関わる機関・団体と共有しました。 ◆子ども子育て支援講演会のテーマについては、近年、教育現場において取り入れられつつあり、川崎市教育プランにも位置づけられている「ウェルビーイング」をテーマに選定しました。引き続き、会議等を通じて地域団体の連携を深め、地域全体で子育て支援を推進していきます。	◆会議の出席者からは、「各団体の現状や行政が行っている事業の詳細が分かってよかった」などの感想をいただきました。 ◆講演会の参加者からは、「幸せは周りの人に伝染するため、まずは自分自身が幸せになることが大事という話に感動した。大変勉強になった」との声をいただきました。	3 目標を ほぼ達成
子ども・子育て	62	多摩区要保護児童対策地域協議会実務者会議	多摩区における要保護・要支援児童の早期発見や適切な援助を図るため、関係機関・団体等が情報や考え方を共有することにより、子どもを守る地域支援ネットワークを構築し、支援機能の強化をめざします。	地域支援課	◆区代表者部会は全2回を実施しました。第1回（8月2日実施、参加者31人）は、報告や委員紹介の他、各機関の代表者向けに「子どもの権利擁護」「一時保護所について」をテーマに講演会を行い、第2回は（12月25日実施、出席者31人）「こどもの育ちとその背景を考える」をテーマに講演会を行いました。 ◆連携調整部会は、児童相談所と区役所が参加し、毎月1回実施しました。うち年3回（4か月毎に1回）は多摩区内の要保護・要支援児童・特定妊婦の全ケースについて確認を行いました。	◆区代表者部会では、参加者からの事前アンケートを踏まえて講演会を実施したため、参加者にとって満足度の高い内容となり、機関連携の重要性や早期発見、早期対応の重要性の理解が深まりました。 ◆連携調整部会では、パソコンを持参し、ペーパーレス化を推進しました。ケース支援に滞りがないように内容確認を行い、情報共有をより強化することができました。	◆区代表者部会での講演会では、参加者から子どもから意見を引き出すことを考える必要性を感じた、など支援に繋がる視点を学ぶことができた内容の前向きな評価が多く出されていました。	3 目標を ほぼ達成
子ども・子育て	63	多摩区幼保小連携事業	区内の幼稚園・保育所等・小学校の職員が連絡会議や交流事業を通し、相互に理解を深め、幼児・児童に関する諸課題について話し合い、情報共有や交流を行いながら、相互協力・連携を進めています。	保育所等・地域連携担当	◆令和4年度に文部科学省で策定された「幼保小架け橋プログラム」に基づき、各種連絡会（園長・校長、実務者）、職員交流（小学校訪問・幼稚園保育園体験研修）、子ども交流（就学前のプチ小学校体験など）を行い架け橋期を通して育てたい子どもの姿を共有し架け橋期のカリキュラム作成に向けての取組を行いました。	◆幼保小架け橋プログラムの推進に向け教育委員会が先導的な役割を担っていくことが重要であることを教育委員会の関係部署をはじめ支部校長会を通して働きかけることで小学校側の意識が格段に向上しました。	◆幼稚園、認定こども園、民間保育園の職員からも小学校の意識が格段に向上したことを受け、保育・教育内容の更なる相互理解につながったとの御意見をいただきました。	3 目標を ほぼ達成
子ども・子育て	64	民営保育所・保育施設等への訪問・連携	区の施策や行政の情報提供及び各種研修、会議を実施し、保育の質の向上を図ります。地域の保育所等の状況等を把握するとともに相談に応じたり、関係機関との連携を図る等、地域の子ども・子育て支援機能の強化をめざします。	保育所等・地域連携担当	◆区内全ての園に年5回以上の訪問を行い、653件の相談、55回出張講座、46回交流を行いました。 ◆公開保育は12回実施し89人の参加がありました。各連絡会やリモート懇談会で事例検討を17回行いました。	◆訪問して顔を合わせて話すことで関係性が深まり、相談できる関係を構築しました。 ◆公立園が中心となり地域の保育園との交流、連携を行い、保育の質の向上につながったと考えています。	◆地域の保育園から相談しやすく身近で頼れると意見をいただいております。 ◆連絡会や研修参加者からは対話重視の研修、講座が保育の振り返り、見直しの機会になっているとの意見をいただきました。	3 目標を ほぼ達成
子ども・子育て	65	多摩区子育て支援会議	地域の子育て支援に向けた活動を幅広く展開している行政機関、市民団体・グループが、活動や事業について情報交換を行い、子育て中の親子を取り巻く状況と課題を共通認識し、ネットワーク化を図って課題解決をめざします。	生涯学習支援課	◆多摩区子育て支援会議を年2回（9月5日、2月6日）開催しました。本会議では、地域の子育て支援に携わる行政、市民団体、グループが集まり、現状や課題について共有するとともに、情報交換を行いました。 ◆子育て支援に関する行政・団体等の情報を掲載した、パンフレット「多摩区で子育て」を発行しました。	◆各団体の実際に現場に関わっている担当者から活動状況を報告し合い、より良い子育て環境を構築するための意見交換を深める場となっています。 ◆行政や市民団体などが提供する子育て支援に関する情報を掲載したパンフレット「多摩区で子育て」は、年間を通じていつでも手に取れるように配架しています。このパンフレットは、初めて子育てをする保護者が地域の子育て支援施設やサービスを知るきっかけとして役立っています。	—	3 目標を ほぼ達成
高齢者・障がい者	66	地域ケア会議（個別ケア会議、地域ケア領域会議、相談支援・ケアマネジメント会議）	高齢者が地域の中で安心して暮らし続けられるよう、高齢者個人に対する支援の充実と、それを支える社会基盤の整備を同時に図ります。	高齢・障害課	◆前年度に引き続き、包括的・継続的ケアマネジメント支援に取り組みしました。また、区では、各種会議への参加を通じて個別ケースの課題分析や地域課題の把握、地域包括支援ネットワークの構築に取り組みしました。	◆各種会議への参加を通じて個別ケースの課題分析や地域課題の把握、地域包括支援ネットワークの構築に取り組みしました。	◆（関係機関からの意見として）高齢者の課題に、障害を持つ家族への課題が関わっているケースが多く、高齢者本人のみへの支援では解決しない複合的な課題を抱えたケースが増えていきます。	3 目標を ほぼ達成
高齢者・障がい者	67	多摩区在宅療養推進協議会	在宅医療の推進役として配置された在宅療養調整医師が中心となり、地域の実情に応じた在宅医療・介護に関わる多職種連携の強化、在宅療養者に対する一体的な支援体制の構築、在宅医療の正しい知識と理解の浸透をめざした普及啓発を行います。	高齢・障害課	◆12月21日に「認知症専門医の父が認知症になって～父・長谷川和夫とかわした言葉～」について長谷川診療所の長谷川洋先生を講師として開催しました。内容としては、物忘れと認知症の違い、いつ病院にかかればいいのか等認知症専門医がやさしく解説する市民向けセミナーです。参加市民は約50人でした。	◆市民向けセミナー開催に向け、テーマ、講演者、場所の選定、チラシ作成、配布物、当日の運営等について、全体会及び役割分担別打合せ等を行うことで円滑に開催することができました。	◆市民向けセミナーに関するアンケート（回答者41人）では、「内容の分かりやすさ」について「大変良かった」と「良かった」を合わせると100%でした。	3 目標を ほぼ達成

分野	事業 番号	取組・事業名	具体的内容	所管	令和6年度の取組状況	令和6年度の取組状況に対する 区役所の評価	令和6年度の取組状況に対する 連携した団体・区民等の評価や意見	事業の 達成度
高齢者・ 障がい者	68	多摩区地域自立支援協議会	障がい者と家族が地域で安心して生活できるよう、障がいに関する普及啓発、社会資源の開発、支援技術の向上に取り組めます。相談支援事業を始めとする地域の障がい福祉関係機関の連携の強化をめざします。	高齢・障害課	◆年12回の企画運営会議、年2回の定例会、相談支援事業所連絡会、地域包括支援センターとの連絡会等を開催し、障害に関する普及啓発、支援技術の向上等に取組みました。相談支援事業を始めとする地域の障がい福祉関係機関の連携の強化を図ることができました。	◆企画運営会議、定例会、相談支援事業所連絡会、地域包括支援センターとの連絡会等の開催を通じて、障害に関する普及啓発、支援技術の向上、障がい福祉関係機関の連携の強化につながりました。	◆（参加団体からの意見として）企画運営会議、定例会、相談支援事業所連絡会、地域包括支援センターとの連絡会等に参加し、障がい福祉関係機関の連携の強化、高齢福祉関係機関との事例検討を通じて、高齢者支援に対する考えを知ることができました。	3 目標を ほぼ達成
高齢者・ 障がい者	69	多摩区精神保健福祉連絡会議	医療、保健、福祉、教育等各分野の委員で構成され、精神保健福祉に関して、区内の活動ネットワークを構築し、地域における課題を共有するとともに、こころの健康に関する課題解決に向けて、講演会等の普及啓発に取り組めます。	高齢・障害課	◆「これから依存」をテーマに講演会を実施しました。また、健康福祉局の職員より依存に関する相談窓口の紹介も実施いたしました。当日は、会場・オンラインを併用して開催し、計65人（会場33人、オンライン32人）の方が参加しました。	◆会場・オンラインを併用して開催したことで、会場での参加が難しい方でメンタルヘルスに関して興味関心のある方にも参加していただくことができ、普及啓発を図ることができました。	◆（参加者からの意見として）依存は誰もが陥る問題であることを認識できた、身近なものの依存を取り上げてくださったことで参考になった、今回のようなオンラインでの開催で感謝している、新たな知識をつけることができたとの意見をいただきました。	3 目標を ほぼ達成
地域・防 災・暮らし	70	多摩区支え合いのまちづくり推進会議	多摩区地域包括ケアシステム推進のため、地域ニーズや課題の共有、区地域福祉計画の策定と事業評価について各種団体の代表者と意見交換を行います。	地域ケア推進課	◆多摩区支え合いのまちづくり推進会議を年2回開催しました（7月17日、2月12日）。	◆第6期多摩区地域福祉計画の評価及び、第7期多摩区地域福祉計画について、各委員から意見を伺うことができました。 ◆多摩区の地域包括ケアシステムの推進にあたり、地域福祉に関連する取組や地域のニーズ・課題等について各委員から意見を伺うことができました。	－	3 目標を ほぼ達成
地域・防 災・暮らし	71	区・地区社会福祉協議会との連携	区役所と区・地区社会福祉協議会が連携し、子ども・高齢者・障がい者等の各分野の情報共有や各主催事業での協力体制を図りながら、地域福祉を推進していきます。	地域ケア推進課	◆区における5地区の地域づくりの取組（No47参照）及び地ケアフォーラムでの連携や、地域ケア推進課・地域支援課主催の5地区合同定例会において情報共有を実施しました。	◆地域福祉活動を進めるにあたり、区役所及び区社会福祉協議会の事業・取組について情報共有を行うなど必要な連携を図ることができました。	◆区社会福祉協議会から、地ケアフォーラムにおいて「地域の方にボランティア活動振興事業を知っていただくいい機会となった」との意見をいただきました。	3 目標を ほぼ達成
地域・防 災・暮らし	72	庁内の各種連携会議	「多摩区地域包括ケア推進本部会議」「コミュニティ検討部会」等の庁内会議を活用して、地域情報や各所管課が実施する事業や課題について共有し、連携を強化します。	地域ケア推進課	◆区地域包括ケアシステム推進本部会議を年2回開催しました（7月31日、3月26日）。	◆区地域包括ケアシステム推進本部において、区における地域包括ケアシステムの推進に向けた取組や区地域福祉計画について情報共有を図ることができました。	－	3 目標を ほぼ達成
地域・防 災・暮らし	73	多摩区健康づくり推進連絡会議	「かわさき健康づくり21」の推進とともに、健康づくり推進のネットワークづくりをめざします。	地域支援課	◆多摩区健康づくり推進連絡会議を年2回（7月、2月）に実施しました。医師会、薬剤師会、商店街連合会、区内小中学校長、大学教授等が参加し、令和4年からのテーマである「高血圧予防」について、今年度の効果的な取組内容や方針、地域での展開方法等を検討し、それぞれの所属でできることについて意見交換しました。高血圧予防やそれに係る生活習慣をテーマにした5地区での講演会の実施、血圧手帳の増刷、高血圧ニュースの発行と配布、イベントでのポスター展示やチラシの配架、区のホームページへの掲載等、様々な普及啓発活動を地域と連携して行いました。	◆多摩区の健康づくり事業や介護予防事業において統一したテーマで取り組みました。様々な切り口で、幅広く普及啓発を行うことにより、市民への予防行動の動機付けにつながりました。	◆委員の医師からは、クリニックに血圧手帳を持参して受診する人が増えている実感があり、地道な活動が実を結んできているのではないかとの声や商店街では高血圧予防のポスターやチラシを配架して普及啓発に取り組んでいるという声が聞かれました。また、大学教授からはこれまでの取り組みの評価指標について助言をいただきました。	3 目標を ほぼ達成
地域・防 災・暮らし	74	多摩区食育推進分科会	地域の食に関する課題や取組について、地域の様々な関係団体と協働して食育を推進するために必要な検討及び情報共有を行います。川崎市食育推進計画の推進とともに、地域特性を活かした食育推進のネットワークづくりをめざします。	地域支援課	◆食育推進分科会を年2回（7月、2月）に実施しました。多摩区健康づくり推進連絡会議と連動して、テーマを「食からの高血圧予防～野菜摂取量増加～」としました。栄養士会、保育園・小学校・中学校栄養士、幼稚園協会、小売店、食品衛生協会、食生活改善推進員等が参加し、地域での効果的な推進方法、それぞれの所属でできること、委員同士の連携について意見交換しました。取組としては①アトリウムや図書館でのポスター展示やチラシ・レシピの配架、レストランたまとの協働による野菜摂取の普及啓発②ベジチェック（機器による推定野菜摂取量を測定）を区内小売店38人、子育てまつり173人、大学学園祭203人に実施し、野菜摂取を啓発③出前講座等での啓発（計12回、223人）、マタニティ食育体験（試食付き）を毎月実施（382人の参加）④食育推進分科会委員団体同士の連携によるイベント開催を実施しました。	◆図書館の利用者やレストランたまの利用者といった幅広い年代に野菜摂取の啓発ができました。啓発物展示中は図書館では健康づくり関連図書の貸出が通常よりも多くなりました。 ◆食育推進分科会の委員団体同士の連携で、行政でも課題である若者世代への啓発ができました。	◆初めて他の委員に声をかけて一緒にイベントを開催した委員からは、委員同士の連携がとてもよかったので、今後も連携していきたいとの意見がありました。 ◆大学でのイベント開催は続けたほうがよいと意見がありました。 ◆それぞれの団体の情報をより深く共有できたので、今後一緒にイベント等の開催をしていきたいと意見がありました。	3 目標を ほぼ達成
地域・防 災・暮らし	75	関係営業施設との連携	食品衛生協会、理美容組合、営業施設、動物愛護ボランティア等との連携による地域づくりを推進します。	衛生課	◆多摩区食品衛生協会と連携して区民向けに食品衛生についての啓発を行いました。 ◆動物愛護ボランティアと協力し、区役所内でペットの防災展を行いました。	◆8月の食品衛生月間に衛生課窓口や多摩区食品衛生協会において食中毒予防の啓発チラシ配布を実施しました。 ◆11月に多摩区防災訓練に動物愛護ボランティアと参加し啓発活動を行いました。	◆多摩区食品衛生協会では一般市民向けに飲食店を中心に啓発チラシを配布しました。 ◆動物愛護ボランティアが来場者に災害時の防災対策について説明しました。	3 目標を ほぼ達成